

今月の経済動向 (2019年3月)

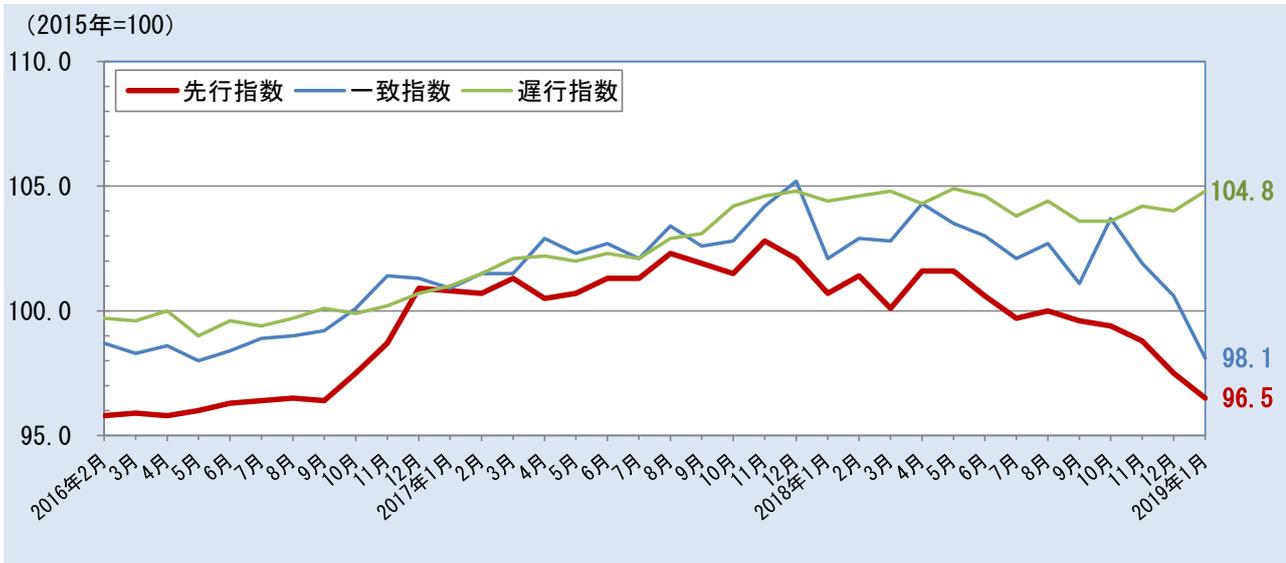
● 月例経済報告 (3/20)

<p>基調判断</p>	<p>(3月) 景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(2月) 景気は、緩やかに回復している。雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(3月) 持ち直している。</p> <p>(2月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="687 465 1362 862" data-label="Figure"> </div>
<p>設備投資</p>	<p>(3月) 増加している。</p> <p>(2月) 増加している。</p> <div data-bbox="687 875 1362 1272" data-label="Figure"> </div>
<p>住宅建設</p>	<p>(3月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(2月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="687 1285 1362 1682" data-label="Figure"> </div>
<p>雇用情勢</p>	<p>(3月) 着実に改善している。</p> <p>(2月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="687 1695 1362 2092" data-label="Figure"> </div>

<p>生産</p>	<p>(3月) <u>一部に弱さがみられ、おむね横ばいとなっている。</u></p> <p>(2月) 一部に弱さがみられるものの、緩やかに増加している。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>																								
<p>輸出</p>	<p>(3月) このところ弱含んでいる。</p> <p>(2月) このところ弱含んでいる。</p>	<p>地域別輸出入数量指数</p> <p>①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>EU</td> <td>2月</td> <td>+7.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+1.1%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>2月</td> <td>+7.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.7%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>2月</td> <td>+6.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.6%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>2月</td> <td>+1.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+2.0%</td> </tr> </table>	EU	2月	+7.2%		3MA	+1.1%	アジア	2月	+7.4%		3MA	+0.7%	全体	2月	+6.5%		3MA	+0.6%	アメリカ	2月	+1.1%		3MA	+2.0%
EU	2月	+7.2%																								
	3MA	+1.1%																								
アジア	2月	+7.4%																								
	3MA	+0.7%																								
全体	2月	+6.5%																								
	3MA	+0.6%																								
アメリカ	2月	+1.1%																								
	3MA	+2.0%																								
<p>国内企業物価</p>	<p>(3月) <u>このところ横ばいとなっている</u></p> <p>(2月) このところ緩やかに下落している。</p>	<p>企業物価の推移</p>																								
<p>消費者物価</p>	<p>(3月) <u>横ばいとなっている。</u></p> <p>(2月) このところ横ばいとなっている。</p>	<p>消費者物価の推移</p>																								
<p>海外経済</p>	<p>(3月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p> <p>(2月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p>																									

● 景気動向指数（2019年1月・改訂値）

2019年1月のCI一致指数（改訂値）は前月より2.5ポイント低い98.1ポイントとなり、3か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は前月より1.87ポイント低い100.2ポイントとなり、3か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は前月より0.70ポイント低い101.5ポイントとなり、3か月連続の下降となった。
 CI先行指数は前月より1.0ポイント低い96.5ポイント、遅行指数は前月より0.8ポイント高い104.8ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「下方への局面変化を示している」に下方修正した。



[景気動向指数：内閣府](#)